



### 定期総会・例会

日 時：平成 28 年 7 月 14 日(木) 12:30～15:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：59 名 出席率 90.8%

(会員総数 68 名 休会 3 名 欠席 6 名)

#### 会食とハッピーコイン披露

宮城安子例会委員長の進行で会食に入り、武田洋一郎副会長からハッピーコイン 21 件の披露があった。(7 ページに掲載)

### 第 20 回定期総会

#### 1. 開 会 宮城安子例会委員長

第 20 回定期総会を開催します(配布資料の確認)

#### 2. 議長選任

恒例により会長が議長をつとめることとなり、岩島寛会長が議長席につき、会員総数 68 名の内、会員 59 名が出席し、本総会が有効に成立したことを宣言し、議事に入った。

#### 3. 書記 1 名、議事録署名人 2 名選出

書記に河合和郎会員、議事録署名人に東山榮会員、根本照代会員が選出された。

#### 4. 議 事

議案は出席会員に配布されているので、議案の項目のみを掲載する。

第 I 号議案 平成 27 年度事業報告

第 II 号議案 平成 27 年度一般会計決算報告

第 III 号議案 平成 27 年度活動準備資金特別会計決算報告

第 IV 号議案 平成 27 年度生涯学習サロン特別会計決算報告

前年度幹事、副幹事、地域奉仕委員長からの議案説明と続いて監査報告

質疑 ① 生涯学習サロンにつき「課題の部分については継続審議となっているが、今までどんな形で審議したのか、今後どのように審議するのかお聞かせ願いたい」旨の発言があり、前幹事より「地域奉仕委員長と理事数人のメンバーでフリー討議をして問題点をひろいあげた。その内容を次年度に申し送る」旨の回答があった。

採決の結果、第 I 号議案から第 IV 号議案まで、賛成多数で可決承認された。次いで、

第 V 号議案 平成 28 年度一般会計予算(案)

第 VI 号議案 平成 28 年度活動準備資金特別会計予算(案)が上程され、飯田幹事から説明があった。

「総会資料について、当日の配布では、形式的な審議になってしまうので、事前に配布できないか」との提案があり、議長から「理事会で検討したい」旨の回答があった。

採決の結果、第 V 号議案、第 VI 号議案は賛成多数で可決承認された。

#### 5. 議長解任

#### 6. 閉 会

### 第 249 回例会

#### 1. 開 会 宮城安子例会委員長

第 249 回例会を開催します。

#### 2. 会長挨拶 岩島寛(新年度方針等)

今年度のテーマとして

「新鮮な 全員参加の 輪を広め 夕焼けのまち 永久に照らそう」を掲げます。



今期は、当クラブ 20 年の歴史を振り返り、善き伝統をしっかりと継承しつつ、更に発展すべく、若干の手直しが必要な時期であろうと考えます。

すなわち、20年の歴史の積み重ねの故に、やや新鮮味が欠けて来ていないか、その表れが諸活動や行事への参加率の低下につながっていないか。当クラブの平均年齢は本日現在77.9歳と喜寿真っ盛りであります。平均年齢は確かに少しずつ上がっていますが、若さ、青春は、心の様相でありますから、好奇心、夢、生き甲斐を持ってチャレンジすれば、いつまでも新鮮で、若々しく、魅力的でみんなが参加する輪を広めてゆくことができるのではないかと。そして、地域社会にこれからも少しでもお役に立って行こうではないか。ここに掲げた今期のスローガンは、そんな気持ちを込めたものであります。

具体的には、

1. 女性の声を大いに反映させると共に、新入会員を増強し、新鮮味溢れるクラブとしたい。
  - ・女性の役員の比率を高めるなど、新鮮で明るく活動できる場を広めたい。
  - ・75名体制を目標に、新入会員（好ましくは、60～75歳）を全員で勧誘、増強しよう。
2. 生涯学習サロン、野外研修、ホームページについて、若干の見直しをしたい。
  - ・生涯学習サロンについては、前期から進めてきた検討プロジェクトを今期も進め、答申案を作成し、実施する。
  - ・野外研修については、例会として行なう以上は、少なくとも70%以上の会員が参加する魅力ある企画を立案し、実行したい。
  - ・ホームページは、一般市民への絶好の広報手段なので、誰にも親しみやすいものにし、これを見て入会応募者が出て来ることも期待したい。
3. 明るく楽しい例会はクラブ活性化の原点である。
  - ・引き続き配席に工夫を凝らし、ハッピーコイン、誕生祝いは継続し、卓話を例会の最大の盛り上がるの場としたい。多様で豊かな知識と経験を持ち合わせている会員同士の触れ合いは、知的好奇心を高める絶好の場である。
4. 地域社会との交流および貢献
  - ・全日本プロバス協議会東日本ブロック交流会を全員協力のもと成功させよう。（本年9月5日、当クラブ主催、於京王プラザホテル）
  - ・平成28年度八王子「宇宙の学校」を成功させよう。八王子「宇宙の学校」を開校して丸5年、

順調に発展している。今期も全員で支援すると共に、拡大基調にあるので運営基盤を強化し、後継者の育成に努めたい。

### 3. 来賓ご紹介とご挨拶

#### 東京八王子南ロータリークラブ

会長 小澤春美様 幹事 小松政見様

#### 小澤会長ご挨拶

皆様、今日は。私達ロータリークラブの年度始めの表敬訪問事業の一つとしてお伺いしました。



先年度の20周年記念式典おめでとうございます。我々も30周年記念式典を執り行いました。その際にご出席頂き、また素晴らしいコーラスをご披露頂きとても印象的でした。我々も真似をしてみましたが、プロバスクラブの“プロ”さんには、とてもとてまかないませんでした。いろいろとありがとうございました。

31年目を迎えます、30年の伝統、文化をふまえて新しい南ロータリーらしさを会員皆で前向きに取り組むべく努力していかなければならないと思います。我々のクラブは9つの委員会があり、今年度はその委員長をパスト会長にお願いしました。パスト会長は経験豊富ですのでいろいろと物事を客観的に見られる立場におられると思います。皆さん快く受けて頂き今年一年進めていくことになりました。

私の会長テーマは「積み重ねよう 小さな感動」です。やはりどんな仕事でも、ちょっとしたことでも“感動”がなければ次の段階に行けないと思います。お客さんに対する感動、我々の仕事に対する感動。私の仕事は設計事務所ですが、どういうものかということをよく例えて話すのですが、漫画家が漫画を描くことに似ていると。笑わせたり泣かせたりはしませんけれども人を感動させる手法を如何に引き出しに詰め込んでいるかによって私達の仕事は成り立ち、またお客様の要望を如何にキャッチするかにより、根本にあるのはやはり感動する心だと思

ます。

5月初めにラジオで流れた事ですが、熊本地震の被害者のおばあちゃんがインタビューに答えられている中で「私達は自分のことより相手様のことを考える。だから大丈夫なんです」と言って笑っているのです。これを聞いて私は感動しました。

我々の親はよく言ってました。“ひとさまに”ということ。やはり自分のことより他人のことを考える。朝のラジオで感動する一言を聞きました。

この一年小さな感動をつみ重ねていくとことで進んでいきたいと思えます。

#### 4. パースデーカード贈呈

岩島会長から7月生まれの6人の会員に、池田会員手作りのパースデーカードが贈られました。

おめでとうございます。



(写真左から高取、澤渡、浅川、濱野、岩島の各会員。有田会員は欠席)

#### 5. 幹事報告

##### 飯田富美子幹事



岩島会長の方針を受け、今まで先輩たちが築いてこられた20年間という歩みをしっかりかみしめ、「如」の心をもって、女性の皆さんとともに、感性を生かした柔らかで、しなやかで、健やかに、やさしく、賢く、強く、みんなで心をつなげて頑張っていきたいと思えます。

皆様のご指導、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

報告事項は

- ① 事務局を岡田様の事務所から「びおら」様へ移転しました。
- ② 専用の転送電話を設置するため手続き中です。

③ 事務局の移転等に伴ない、各種書類・資料・封筒類を改正します。

④ 郵便局等に対して変更依頼等を行います。

⑤ 印刷所の関係は清水工房さんにしっかり対応していただいております。

⑥ 新しい同好会として、「フラダンス同好会」を新設しました。健康第一とコミュニケーションを目的に設立しましたので、女性会員全員参加のほどよろしくお願ひいたします。

⑦ 年間スケジュールを配布しました。

#### 6. 委員会新年度活動方針等の発表

##### (1) 例会委員会

##### 宮城安子委員長



「楽しい例会はクラブ活性化の原点！」として取り組む。

この方針をふまえて、例会委員会は、会員の皆様にご満足戴けるような例会にするために

- ① 配席に工夫をし、会員間の交流ができるように努力する。
- ② 卓話は、例会の最大の盛り上がりの場としたい。
- ③ ハッピーコイン、パースデーカードは継続を依頼する。
- ④ 食事時間をきちんと取り、充実させたい。
- ⑤ 受付、配席、資料配布、集金など分担を定め、各委員が役割を確実に実行する。

##### (2) 情報委員会

##### 有泉裕子委員長

情報委員会の活動方針としましては会長の示した全体テーマの方向性に基づき、情報委員全員が楽しく作業できるよう業務の分担を決め、無理・無駄のない編集を心がけ、業務を通じてお互いが啓発し合える雰囲気作りをしたいと思います。



基本的には従来からの情報委員会の所管事業を継承し、改善し、発展させる。

1. 定期刊行誌「プロバスだより」の編集と発行。

- ① 定例記事の簡素化を図る。

定例会報告、卓話、委員会報告等は活字で頂く

ようにしたいと思います。

## ② 会員情報の充実。

同好会の責任者と適時連絡を取り、寄稿の促進を図る。

会員の皆様の積極的寄稿をお願い致します。寄稿促進担当の渋谷さんが皆様にお願ひした時にはぜひ快く寄稿よろしくお願ひ致します。

## ③ 委員会メンバー相互の研修を充実し、編集体制の確立を図る。

### 2. 学習サロン抄録の編集、作成。

記念誌として残る抄録、外部への配布等を考え厳密な校正とレイアウトと文章の推敲を行なう。

### 3. ホームページの情報の更新と内容の充実を図り、データ管理体制を確立する

① 引き続き専門業者へ管理を委託し、業務内容の充実を図る。

② ホームページ情報の更新と内容の充実を図り、データ管理を適確に行う。

③ プロバスの保有している情報データの整理と情報の確実なバックアップについて専門業者との協議を行う。

④ ホームページの意見交換会の結論を受けてホームページのトップページを魅力あるものにしていくため情報委員会プロジェクトチーム、歴代委員長、委託業者で検討する。

## (3) 会員委員会

### 土井俊雄委員長

会員委員会の役割

1. 会員の拡充(目標値 75名)

① 人脈を活用出来る方の活動がしやすいようなデータの整理または活動へのサポート等を行なう。

② 前年度からの一人一推運

動を継続し、委員会全体の人脈開拓に掛けるモラールを高めたい。

③ プロバスサロン一般会員(特に長くリピーターである方)の中からプロバス会員にふさわしい方を選び出すためのアンケートを年間1~2回行う。

### 2. 会員の定着化に努力

体調不良、家族の病気等止むを得ない事情は別とし退会に至った事情等を検討し、理事会に報告する。

入会時に話し相手もなく、会の全容が把握できていないときは、心細い状況におかれる。「早く終わって帰りたい」ではなく、会員同士で交わる手段が用意されるとよい。同上理事会に報告する。

### 3. 各種集金の徹底(担当者・責任者を決めて対処)

1) 年会費・活動準備金(7月・1月)

2) 生涯学習サロン関連

① 開講式・サロン各週の受付、お茶代の徴収

② 野外サロン参加費の徴収

③ 閉講式・さよならパーティー参加費の徴収、当日の受付

### 4. 各種データの整備・運用

1) 会の多大な資料を少なくし整理できるものは整理する。

2) データの簡素化により誰でも扱えるような資料としたい。

皆さんには新会員の募集にご協力たまわり有難うございました。

会員の現況を報告します。今月末に熊田、磯会員が退会され、会員数は68名となります。この内、荒、竹内、高橋の3会員は休会となります。

今年度は6名の新加入がありましたが、残念ながら5名の退会者がありました。

会員の平均年齢は6月末現在で77.9歳となります。

## (4) 研修委員会

### 池田ときえ委員長



研修委員会は3件の課題があります。

1. 例会時の卓話

テーマによっては外部の方にお願ひすることもあるが、主に会員に話してもらう。

今期は新しい会員が多いので、自己紹介を兼ねたお話が聞けそうです。

### 2. 野外研修

車中例会になるので多数の参加が欲しい。

体力的に楽で魅力的な目的地、という難しい条件をクリアすべく努力します。

### 3. 出前講師について

その後の退会入会にあわせて内容の見直しをする。広く活用してもらえるように、他クラブなど外部に働きかける。以上、三つの柱で活動します。

## (5) 地域奉仕委員会

### 持田律三委員長



今期のスローガン:「全員参加で明るく元気に前向きに」

基本方針:「楽しく学べるサロンの計画・実行」

1. 年度目標 一般会員の参加者数の増員 20%Up

今年で第 21 回目を迎える

「学習サロン」を成功させる事が地域奉仕委員会の最大の課題です。委員全員が全員参加で各自の役割を持って一致団結して取り組む。

本年度目標をサロンへの参加者数を前年比 20% Up (20名増) とする。

### 2. 方策

(1) すべての各委員の参加が活動の基礎。

委員各自が役割を分担・実行し、情報を有し結束を図る。

連絡網を有効活用し、情報の共有を図り、常に円滑な議論ができる状態にしておく。

(2) 良いテーマを選ぶ。

講座数は前年同様 4 講座ずつ 3 週で合計 12 講座を計画する。

① 「サロン」の意味を再認識し、「楽しく話し合いできる」場を設ける。

② 学習型、趣味型、健康志向型などを効果的におり込む。

③ 参加型サロンの取り入れ。

(3) 広く「サロン」を知らしめる。

① 会員自らが口コミで広める。

② 市広報誌・地域情報誌などを活用し、早く広める。

③ リーフレットを早めに準備し、宣伝期間を十分につくる。

学習サロンは多くの委員会の皆様のご協力がないと成功しませんので、皆様の絶大なるご協力をお願いします。

### 3. その他の地域活動

「いちよう祭」、「健康フェスタ」等、地域の行事には従来ベースで積極的に参画していく。

活動方針は以上ですが、委員会の運営については、会員同士十分な連携を取りながら、他の委員会の皆様のご協力を得て取り組むようにしたい。

## (6) 交流担当

### 浅川文夫会員

全日本プロバス協議会は 9 月の東日本ブロック交流会と、11 月の九州での総会と大きな交流の場があります。大勢の参加をお願いいたします。より親密な交流を進めるには、地理的に近いことが大きな要因となりますので、近隣クラブとの交流も進めていきたいと思ひます。



## (7) 八王子「宇宙の学校」 下山邦夫運営本部長



開校 5 年を経過し、参加者はもちろん、教育界、地域などの高い評価を得て来た。

応募者が増えた事など期待は一層高まっていると考える。大学生ボランティア体制の強化、市助成金による金銭的裏付け

をもとに、一層の発展の基礎を作り上げ、更に評価を高めたい。

1. 年度活動を通して、大学生ボランティア倶楽部の定着・継続化を得る。

2. スクーリング当日の段取りを改善する。特に大学生ボランティアの活躍する基盤を確立する。

3. プロバスクラブ会員(SEL、T. S、運営G. S)は一段階上の立場からの活動を模索すると共に新たな経験者を増やしていく。

4. 会場の狭さ、使い勝手の不都合を何とかしのいでいるが、増大する要望に応えるのは現状では限界があるので、会場探しなど対策を模索する。

5. 市制 100 周年記念行事への協力。

## 7. 「宇宙の学校」支援の会

### 澤渡 進会員



支援の会代表と後援会会長の代理ということでお願い致します。

昨年度で 5 年が経過し、成長・発展を遂げ今日に至り、昨年 5 周年記念特別事業も成功裡におわりました。

その間、会員各位には精神面、財政面、労力面様々

なご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。

今年度からは財政面において八王子市から「宇宙の学校」助成金の確保ができました。労力面においては学生ボランティア倶楽部設立により、プロバスクラブの諸々の負担軽減にその目処がつけました。労力面の支援はすでに30名を超える皆様に参加登録いただきました。引き続き今日から財政面の支援のお願いをさせていただきます。

具体的には今年度会費として2,000円(2口)の登録をお願い申し上げます。受付にて高取さんとお待ちしております。8月例会まで申し込みを受け付けます。労力面でご協力頂ける方は「宇宙の学校」プロジェクト下山リーダーにご相談ください。

## 8. 同好会活動

### ゴルフ 小林貞夫会員

八王子クラブ単独のコンペは10月7日開催を予定しています。

多摩地区合同コンペは10月28日に開催予定です。

### 麻雀 荻島靖久会員

7月19日例会を行います。

## 9. その他

### 大野聖二会員

歴史の会が無くなってしまったのが非常に残念です。八王子の歴史についての勉強会は必要に思いますので再立ち上げの検討を望みます。

### 根本照代会員

フラダンス同好会が本日発会するになりました。女性会員にはお手紙をお入れしました。「美」と「健康」のために楽しみ、親睦を深めたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。

男性会員の方も是非サポーターとして如何でしょうか。奥様方にもお声掛けよろしくお願い致します。

## 10. プロバス讃歌斉唱



## 11. 閉会 武田洋一郎副会長

新規年度の総会、例会も滞りなく無事済みしました。審議お疲れ様でした。これからの一年間、会長の方針である「新鮮な全員参加の輪を広め、夕焼けのまち 永久に照らそう」に沿って、楽しくゆるゆると活動したいと思いますので、皆様のご支援を宜しくお願いいたします。



補足ですが、本日、久野さんから提供されました「ALPHA CLUB」という情報紙は、胃を切った患者と医師の情報交換のための同名のクラブが発行する月刊紙で、私も個人会員としてこのクラブに登録しております。これから、暑さも増してまいります。熱中症には注意し、健康維持には細心の注意を払いましょう！ それでは来月まで、さようなら。

## 八王子「宇宙の学校」報告 情報委員会 有泉裕子

6年目を迎えた八王子「宇宙の学校」第1日目は、6月12日東京工科大学会場(92組参加)、7月10日本部会場(76組参加)、7月16日八王子北高校会場(31組参加)で始まりました。



来賓にお迎えした安間教育長の御挨拶と開校宣言で始まり、こども・宇宙・未来の会(KU-MA)の



山下法昭先生の受講ガイダンスの後、スクーリングテーマ「ホバークラフトを作ろう」に取り組んだ。

## ハッピーコイン

- ◆岩島会長年度、おおいに期待しています。  
永井 昌平
- ◆いよいよ岩島年度が始まります。幹事として自然体で頑張りますので皆様の御指導ご協力をよろしくお願い致します。  
飯田富美子
- ◆何とか無事お役目を終了できそうで、皆様のご協力に感謝です。特にハッピーコインは対予算 25%増 4年ぶりに 15 万円の大台に乗りました。ありがとうございました。  
田中 信昭
- ◆1 年間ありがとうございました。岩島さんの門出をお祝いして！  
戸田 弘文
- ◆七夕や プロバス年齢に届きけり  
褒めたくもあり悲しくもあり 澤渡 進  
(岩島年度発足と自身の祝いで座布団 10 枚)
- ◆第 21 回岩島寛会長をお祝い申し上げます。増々の成果を期待します。  
濱野 幸雄
- ◆新しい年度の出発おめでとうございます。無理せずたのしくがんばってください。  
立川富美代
- ◆新しい年度が始まりました。例会委員長として、理事のみなさまのお力を頂き、そして何よりメンバーと共に有意義な年度となりますように頑張ります。どうぞよろしくご支援くださいませ。  
宮城 安子
- ◆今年も 7 月 29 日から平和展を実施します。南口会場、南大沢会場も予定しています。どうぞお出かけください。  
廣瀬 智子
- ◆2001 年に入会、在籍 15 年目になりました。今回副会長のお役目が廻ってきましたので、尽力したいと思いますが、皆様のご支援よろしくお願い致します。  
武田洋一郎
- ◆今月上海へ行って来ましたが暑かった。来月は「ダイヤモンド・プリンセス」の船に乗って釜山・鹿児島・高知・清水の旅にいつて来ます。  
野口 浩平
- ◆5 月下旬都立駒込病院に入院しました。10 年前「大腸癌」で下腹部を切開手術しましたが、その縫合箇所が裂けてひどい「瘢痕ヘルニア」となりました。またプロバスの活動にも参加しますので、宜しくお願いします。  
山形 忠顯
- ◆25 年間地域の交通安全活動に尽力し交通事故防止に寄与したことに対して交通安全協会から感謝状をいただきました。  
有泉 裕子

- ◆又、一年間よろしくお願ひします。 浅川 文夫
- ◆先日 10 日 81 才になりました。80 才から 1 年は非常に早く感じます。これからも元気でいられるよう注意して過ごします。  
高取 和郎
- ◆七夕祭りに誕生日を迎えました。今年も皆で楽しく過ごしました。  
濱野 幸雄
- ◆本日も元気に来られたことに感謝！ 土井 俊玄
- ◆周辺がお先にと逝ってしまう方々が多く、淋しいかぎりです。でも前向きにと思いつつ。古川 純香
- ◆庭木を剪定していましたが、ヒヨドリが巣をかけているのを見つけ、巣の中をのぞいたら卵が 1 個ありました。なんだかホッコリしてうれしくなりました。そこで一首

「庭の木にヒヨドリが巣を掛けにけり無事に育てと家人(みな)祈りおり」  
岩島 寛

- ◆健康に恵まれて八十一歳の誕生日を迎えることができました。掛替えのない残り少ない人生を「好奇心と感動」をモットーに生きて行こうと思っています。  
岩島 寛
- ◆フラダンス同好会が本日発会するに到りました。女性会員の「美」と「健康」のために楽しみ、親睦を深めたいと思います。ご協力よろしくお願ひ致します。  
根本 照代

## 寄稿

### 終戦記念日を考える

#### 渋谷文雄



歳月の経つのは早い。71 年前の 8 月 15 日、日本は当時の国権最高責任者である、天皇の名において、カイロ宣言を含むポツダム宣言の無条件受諾を連合側側に通知し、戦争は敗北をもって終わった。

しかしこの日にすべての戦闘は終わらなかった。ソ連軍は満州や樺太・千島列島等から退避する民間の非戦闘員を無差別に攻撃殺戮し、略奪暴行をほしのままにした。私は当時、満州に在住した一動員学徒であった。ソ連軍の捕縛を逃れて帰国を目指し南下の逃避行を重ねたが、安東郊外で暴徒に襲われたり、付近に進駐したソ連軍に捕まって軍の使役とし

## 私の一句～7月の句会から

河合 和郎

今月から矢島一雄会員が句会に参加。有力新人登場の感強し。句会が一段と賑やかに。

俳句に興味のある方は、句会の見学からでも結構です。楽しいお話で大歓迎します。

**雲海の渦突き上げて槍ヶ岳** 矢島 一雄

大きな景を詠んで秀。槍ヶ岳の山の名前が効果的に効いている。写真的な観察眼の鋭さが。

**山鳩の声やはらかに梅雨明ける** 池田ときえ

高点句。女性的な繊細さと柔らかさのある一句。山鳩のほろほろと啼く音が聞こえてくるような。

**雲海を枕に寝たり阿蘇五岳** 田中 信昭

山の句が得意な作者。雄大な景が浮かぶスケールの大きな一句。中七の措辞に俳諧味があって面白い。

**山降る温泉の村名物岩魚食む** 飯田富美子

山を下り、温泉に疲れを癒す。後は名物の岩魚を肴に一献。何とも贅沢な山歩きの一句。

**パパの背にゆれるリボンや夏帽子** 立川富美代

パパにおんぶされた子どもの様子を可愛らしく詠んでいる。夏帽子の季語が生き生きしている。

**校門へ消えゆく傘や立葵** 馬場 征彦

登校児の日々の姿の写生。子に注ぐ親の愛情が伝わって来る。立葵と傘が絶妙な取り合わせ。

**白き指枇杷の皮むく雨の午後** 渋谷 文雄

何とも粹で艶っぽい一句。作者は句会の最長老。こうした若々しい感性が健康長寿の秘訣なり。

**紫つゆ草慄き震ふ肥後豊後** 山形 忠顯

震災禍の熊本地方は正にこの状態。中七の「慄き震ふ」の措辞が全てを語り尽くしている。

**片陰を拾ひて巡る城下町** 河合 和郎

人影もまばらな夏の城下町。日陰から日陰へ。暑さを避けながら巡る古都。小旅行の一コマを一句に。

て酷使され、さらに八路軍に留用。国共内戦に巻き込まれ8年間にわたる貴重な青春時代をすごさざるをえなかった。

私の先輩はかつて戦後50年の終戦記念日に要旨、次のように書いた。

……8月15日が近づき、各地で様々な催し事がある。それらの集会で戦争の惨禍を体験したものが、これを次世代に語り継ぎ、平和への誓いを新たにすることは当然のことではあるが、それらの集会が何百人の参加者を集めても、必ずしも戦争の抑止力にはならないことも明らかであろう。

この50年の間に、朝鮮、ベトナム、中近東での戦争を初めとして戦闘行為は絶え間なく行われ、侵攻、内乱、テロ、暴動、そして弾圧や飢餓までいければ、何千万人の兵士や市民が、非業に倒れてゆく状態は継続している。

その間、日本人はその惨禍を直接被ることのない場所に身を置き、むしろ平和と繁栄を享受してきたのであって、民族対立や宗教対立のない、利口な原則尊重国家としてこの50年間保身を全うしてきた、というのが一面の経過であって、世界の現代史の中で8月15日だけが終戦記念日ではないのである。

敗戦の日、満15歳以上であった世代は、いまや加速的に減少しつつある。それらの人々は直接の当事者として戦争の犠牲者に対する痛切な追憶を忘れることはあるまいから、平和への希求がいかに切実であるか身をもって知っているが、理不尽な戦争に巻き込まれた人間が、どのように生きようと、どんな戦争に勝とうと負けようと、その死はムダ死になるしかなく、そのこと自体が戦争の最大の罪悪と考えなければ、戦争反対の主張は完結しないのである。

長い歳月を経てもなお、徴用慰安婦の賠償請求などという、おぞましい問題などが出てくる。法律に時効はあっても、戦争被害に時効はなく、国のために戦って散った祖父や父たちを美化させない、という怨念が実在している。現在の日本の繁栄も、その土壌の中に腐った過去を含んでいると叫ぶ声がある。

歴史が当事者の肉親感情を風化し尽くすのにはおよそ百年はかかる。

戦後百年目の8月15日には、どのような集まりが催され、主催者はどんな言葉を発信するのであるうか。

## 編集後記

お届けする249号は2016~2017年度最初ですので新年度方針を掲載しました。寄稿が一編になってしまつてすみません。

情報委員長としての一年、皆様よろしくお願ひ致します。：有泉裕子